

リーダーが会社の10年後を考える上で必要な「2つの力」

経営者の時間は、(1)トラブルに対応する時間、(2)現在の事業を維持するために使う時間、(3)会社の未来のために使う時間の3つに分類できます。危機時にはもちろん(1)や(2)を優先せざるを得ませんが、「会社の未来のために使う時間」を取れるのは経営者しかいません。それなしでは会社の将来はありません。

どんなに優秀な部下であっても、たいていは会社の未来のために時間を使うことはありません。なぜなら、目の前の仕事を確実に終わらせることが、部下のやるべき仕事だからです。だからこそ、経営者の「会社の未来のために使う時間」がとても重要になってきます。

●自分が何のために存在するのか 存在意義から経営の舵取りを考える

良い会社は経営者が会社の未来を見据えて5年先、10年先の構想を立て、役員会に諮って議論を尽くし、その結論に基づいて3カ年計画や単年度計画を作成しています。未来からの視点で、現在までの道筋を考えているわけです。

しかし、10年先の構想にとらわれすぎるのもよくありません。市場環境、経営環境は絶えず変化するからです。その環境変化に応じて戦略も変えていく必要があるのです。そこで大事なことは、自사가何のために存在するのかという存在意義である。そこで大事なことは、自사가何のために存在するのかという存在意義である「ミッション」や、将来あるべき姿である「ビジョン」、行動規範となる「理念」を明確にして、それらに基づいて10年先の構想や個別の戦略を立てることです。そうすれば市場環境、経営環境が変わっても、どんな時にもミッション、ビジョン、理念に照らして正しい方向に経営の舵を切ることができます。

●これからのリーダーに必要な「未来を見通す力」「直観力」を養うには？

未来は正確に見通せるものでしょうか。ピーター・ドラッカーは「未来など誰にも分からない」と言っています。その通りなのですが、経営の本質的な仕事とは、分からない未来を読み解きながら会社の舵取りをすることです。つまり経営とは、未来を志向して行うものであり、過去の延長線上で行うことではありません。経営者の仕事は、不確実な未来に対して、決断することです。誰にも分からない未来の予測なので精度は80点なら御の字、場合によっては70点、60点でも合格です。それでも未来予測の精度を高めるために、経営者は普段から未来を見る癖をつけ、「未来を見通す力」を養わなければなりません。未来を見通す力を簡単に言えば、仮説を立てる力です。

仮説を立てる力のベースには、論理的思考力と想像力が必要です。仮説は外れても構いません。外れたら、外れた理由を考えることが訓練になります。そして、そのような仮説をどんどん立てていき、それらを検証することを繰り返して、その精度を上げていくのです。他社や他業界を見て分析することも訓練になります。他社や他業界で起こっていることが、タイムラグを経て自社や自社が属する業界でも起こる可能性があるからです。

「直観力」を養うことも重要です。インターネットやSNS等の普及によって、経営者は得ようと思えば以前の何百倍何千倍という膨大な量のデータを入手できるようになりました。反面、その情報量が多すぎて、データの積み上げだけでは結論が出せなくなる場合も少なくありません。そこで求められるのが直観力なのですが、経験が少なく、かつ論理的な志向ができない人の直感は当てずっぽうに過ぎません。

普段から考え抜く癖を付け、さまざまな事象を見て、最後は直感で決断する—それが経営者に求められている重要な仕事というわけです。

DIAMOND online 小宮コンサルタンツ代表 小宮一慶より

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

NAPRO EARTH

スキルアップ通信 VOL.84

2018年 第6号

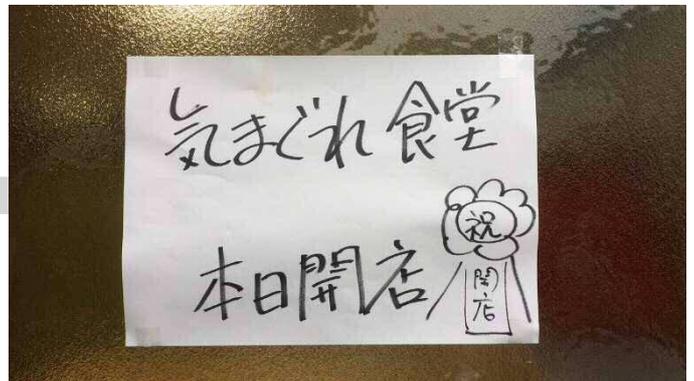
株式会社ナプロアース 総務部 発行
TEL (024)573-8091 FAX (024)573-8092

「元気で働く職場」応援事業モデル事業所に選ばれました。

福島県民・協会けんぽ福島支部加入者の健康度をご存知でしょうか？

	男性	女性	(全国の順位)
血圧のリスク保有率	ワースト4位	ワースト4位	
急性心筋梗塞などの心疾患による死亡率	ワースト1位	ワースト1位	
脳梗塞などの脳血管疾患による死亡率	ワースト11位	ワースト6位	
糖尿病による死亡率	ワースト11位	ワースト9位	
喫煙者の割合	ワースト5位	ワースト6位	

当社は若い社員の方が多いので、今のうちから健康に興味を持ち、いつまでも健康で働き続けられるような取り組みを進めていきます。まず第1弾として、朝ごはんを食べない若い社員さんが多いので、6/27の朝「きまぐれ食堂」をオープンしました。15名の社員さんが参加してくれました。いつもより少し早く出勤して、食堂でみんなで朝ごはん。みんなで食べる朝食はいつもよりとても美味しく感じられました。ご飯1升、パスタ1kg、味噌汁とすべて完食しました。次回はいつになるか？きまぐれなので。



【福島県の事業所様へ】

7月は働きやすい職場環境づくり

推進助成金の申請月です。

以前のスキルアップ通信でもご紹介しましたが、福島県限定の助成金です。

- ・働きやすい職場環境づくり事業…助成額 経費の8/10 (上限50万円)
- ・人材育成事業…助成額8/10 (上限50万円)
- ・社内の労働環境整備事業…助成額8/10 (上限100万円)

研修費やセミナー経費、就業規則改定なども対象になりますので、詳しくは福島県商工労働部 雇用労政課までお問合せ下さい。親切に対応してくれます。

※申請月…7月、10月、1月

夏に気をつけたいマナー

暑くなってきてサンダルを履く機会が増えてくる季節です。素足で履くこともあると思います。

そんな時に、急な訪問や座敷での食事に誘われた場合どうしますか？

やはり素足で上がるのは避けたいものです。

歩き回った後の足は汚れているでしょうし、そんな足でうち上がるのはマナー違反です。

出切れればバッグに靴下を忍ばせておきたいものです。

また夏は汗も気になります。

必ずハンカチを持参し、こまめに拭いたり汗わきパットなども上手に使うのも良いと思います。

営業の方などの場合は、汗に臭いにも気を配りましょう。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します